

川崎市内乗合バス運賃改定における上限運賃変更認可申請について

小田急バス株式会社（本社：東京都調布市 取締役社長：早川弘之）は、2023年5月15日を実施予定日とした川崎市内（東京都稲城市の一部を含む。以下同じ）乗合バスの運賃改定について、本日、国土交通省関東運輸局長宛てに一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃よりご利用のお客さまには、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

当社の川崎市内乗合バス運賃は、1995年3月の前回運賃改定以降、消費税率改定を除き約28年間変更せずに輸送サービスを提供してまいりました。この間、幾多の社会情勢の変化を受け需要の減少や経費の増大といった厳しい経営状況となりましたが、その都度最善の経営改善策を講じバス事業を継続してまいりました。

しかし、より安全性の高い車両の導入や旅客設備等関連施設や機器の更新、研修所をはじめとした乗務員への安全教育への投資、深刻な運転士不足による要員確保のための人件費増加、社会情勢の変化に伴う燃料費高騰など、今後も輸送コストの上昇が見込まれます。またカーボンニュートラルの推進やキャッシュレス決済の取り組みなど社会の要請に対応するには引き続き多額の資金が必要となります。他方、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大による新たな生活様式の定着により移動需要自体が減少したため、このままでは一層厳しい経営状況が想定されます。

今後も公共交通事業者の使命としてお客さまに安心してご利用いただき、安定した輸送サービスを提供するためには運賃改定による収支改善が不可欠であると判断し、今般認可申請をいたしました。

2. 申請内容

- (1) 申請日 2023年2月28日
- (2) 実施予定日 2023年5月15日（月）
- (3) 申請内容 川崎市内乗合バスの上限運賃変更認可申請
- (4) 申請（上限）運賃 改定率19.05%
実施運賃に対する改定率4.76%
- (5) 現行・申請運賃比較表

項 目		現 行	申請（上限）運賃	実施（予定）運賃	
普通旅客運賃	大人	現金	210円	250円	220円
		IC	210円	250円	220円
	小児	現金	110円	130円	110円
		IC	105円	125円	110円
（参考）定期乗車券		通勤大人	通学大人	通学小児	
定期旅客運賃	IC全線1箇月	9,350円	7,480円	2,450円	

※定期旅客運賃（当社IC全線定期券）は据え置きます。

注1：表中の実施運賃は現時点での予定であり変更となる場合があります。認可後、あらためてお知らせします。

注2：申請（上限）運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受しても良いとされる運賃の上限額です。

注3：実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

3. 収支状況（川崎市内）

項目		輸送人員	収支状況
2019年度（実績年度）		1,662万人	△7億9680万円
2023年度（平年度推計）	改定前	1,667万人	△2億6790万円
	改定後	1,567万人	△1億1030万円

※2023年度平年度推計における改定後の輸送人員および収支状況は、申請（上限）運賃での推計数値です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味していません。

※2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているため、記載していません。

4. これまでの経営改善と今後の取り組み

当社ではこれまで子会社設立による運行委託、不採算な貸切事業の縮小、ご利用状況に応じた運行計画の見直し、車両更新サイクルの延長、アイドリングストップ（エコ運転）推進による燃費削減など経費節減に努めてまいりました。一方で深夜バスや新規路線の開設、「IC全線定期券」の駅での発売やMaaSアプリ「EMot（エモット）」に代表される小田急電鉄との連携による旅客サービスの拡充も進めております。近年では運行の効率化に寄与する営業所の新設・移転も実施しました。

今後は新型コロナウイルス感染症の影響によるご利用状況の変化に対応した運行計画の見直しを引き続き進めながら、当社沿線に予定される地下鉄の開業、その他社会環境の急激な変化に対応した運行計画の見直しや路線再編など機動的に行うとともに、全社的な業務の効率化を図ってまいります。こうした取り組みにより路線ネットワークの維持に努め、お客さまへの輸送サービス提供の維持・拡充を図ると共に、環境面ではエコ運転の継続のほかEV（電動）バスの導入などを推進し、環境負荷の軽減に努めてまいります。

5. 安全対策への取り組み

「安全はすべてに優先する」という当社安全方針に則り、今後も安全確保を最優先に取り組んでまいります。乗務員への安全指導はもとより、健康管理面では引き続き睡眠時無呼吸症候群（SAS）や脳ドック検査の実施により健康起因事故を未然に防ぐ取り組みを強化してまいります。

ハード面では、乗務員の異常時対応システム（EDSS）搭載のバス車両の導入で、万が一の際の被害軽減にも努めてまいります。

6. サービス向上への取り組み

当社では交通系ICカードを活用した「IC全線定期券」や「1日乗車券」、65歳以上の高齢者を対象とした現金100円で乗車できる「ナイスバス」などを発売しております。通学定期券では割引率が高く家計に優しい「通学年度定期券」を2020年度から発売を始め、サービス拡充を図ってまいりました。

お客さまがお持ちのモバイル端末でそのままお支払いいただけるモバイルPASMOやモバイルPASMO定期券なども導入し、利便性向上を図っております。

運行面では、バスロケーションシステムによるリアルタイムな運行状況の提供、外部業者との連携による時刻表情報発信のほか、ホームページやTwitterによる情報提供も行っております。

お客さまセンターへ寄せられた声は本社と現業で共有し、お客さまが何を求めているのかを把握すると共に、運転や接客などにいただいたご意見は営業所へフィードバックして教育に活かすなど、常にサービスの改善と向上に努めております。

今後もお客さまの利便性向上に向けたサービスの提供を進めてまいります。

7. 本件に関するお問い合わせ先

小田急バスお客さまセンター

電話03（5313）8330（平日10：00～16：00 土日祝・年末年始・5月1日は休業）

以上